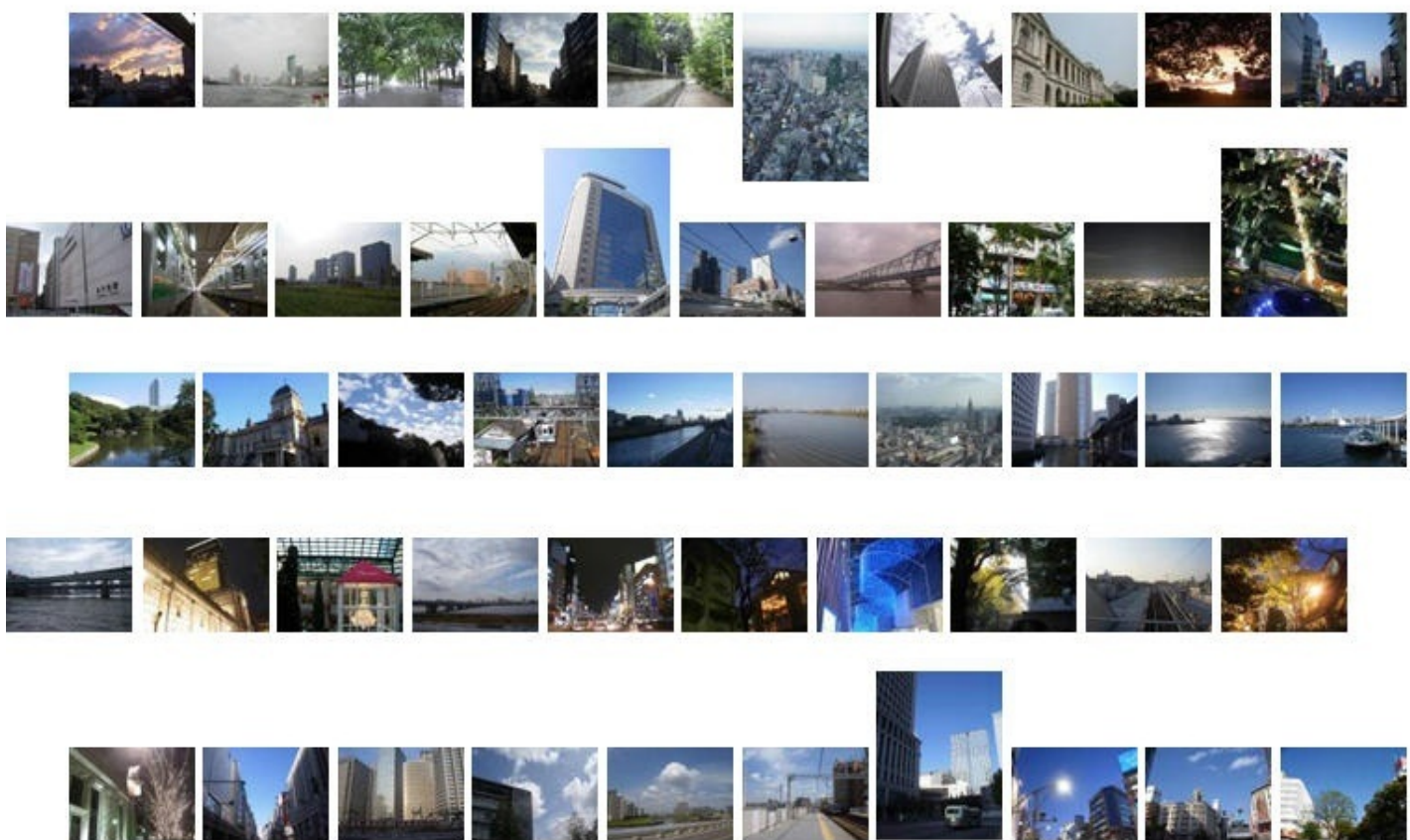


# 続 東京百景



## 「続 東京百景」について



1997年9月からWeb上で随筆もどきを載せ始め、月に2本のペースを保ちつつ、今日に至っています。節目となる第100話の際、3話にわたり「東京百景」を紹介しましたが、「続 東京百景」はその続きとして、2010年3月、第300話の節目に合わせて掲載したものです。「東京23区のちょっとしたシーンをご紹介」がテーマです。

随筆もどきの中で、百景分を一気に紹介するのはなかなか手間がかかるものなので、予告を兼ねて、[ブログ](#)で先行掲載し、[第276話](#)でまずは20景、残る80景を第[300](#)～[301](#)話で紹介（ブログから引用）する、という形をとりました。その時のブログ本文を編集し直したものが今回の電子書籍版「続 東京百景」です。

番号が増える（下に進む）に従って、春→夏といった歳時記的な見え方になります。

ひとつご高覧ご笑覧の程を。

ブログでの掲載期間：2008年12月16日～2010年2月25日（約4.3日に一景の割合で掲載）

掲載した写真の撮影期間：2002年8月26日～2009年11月6日

ブログ開設時の覚え書き：

100の区切りを迎えるとなれば、ちょっとした特集があつて然るべき。[第100話](#)の時に一度展開しましたが、ここはやはり「東京百景」の続編で行くのがよからう、と思いつき、どうせ載せるなら予告編を兼ねて長々と、ということでアメブロにて掲載を始めました。

撮れたての旬な一枚を載せていてもいいのですが、ちょっとしたストックから復刻したりするのが随筆「東京モノログ」的アプローチ。前回の東京百景の続編とするなら、ここ4～5年の間で撮りだめた中から、掲載日と同じくらいの時期のものを選んで載せてみるのもいいだろう、と考えました。（サイズは640×480。解像度は低めにしています。ご了承の程を。）

2010年2月までに百景そろえば、3月の第300話で一気に振り返りができるという仕掛けですが、そのためには週に二度はアップしていかないといけません。ブログのペースとしては間延びした感じになりますが、不肖筆者としてはこれくらいがちょうどいい？と思つてます。

注記：

各ページ末尾には、その記事に関係（または該当）する情報（基本的に自筆）へのリンクを付しておりますが、参考の度合いはバラつきがあります点、ご了承ください。

文中随所にもリンクを付してありますが、最新の状態になっていない場合もございます。予めご承知おきください。

## #001 東京ビッグサイトからお台場方面（2007.12.15）

---

2007年12月15日、「エコプロダクツ2007」の見学（or [取材](#)）を終えて、国際展示場正門駅に向かう途中で撮影したものです。印象的な夕映えでした。



→こちらどうぞ. . . 「東京モノローグ」[第271話](#)～エコプロ初！ 中国語&韓国語サポート

## #002 西新宿のイルミネーション（2005.12.18）

---

日曜日だったこの日、新宿で半日を過ごし、歳末&週末特価でFAXや外付HDDなどを買いました。それなりに重い物を持ち歩いていた訳ですが、イルミネーションを楽しむべく、副都心エリアをブラブラすることにした筆者です。

19時過ぎに三井ビルの前を通ったら、こんな具合。青白を基調とした凛とした光が迎えてくれました。



→こちらどうぞ．．．「東京モノログ」[第196話](#)～街の光彩

### #003 三井本館前（2006.12.24）

2006年の「報道写真展」を見に日本橋三越に出かけたら、「年の瀬日本橋2006」なる催しが三越前駅周辺（中央通り一帯）で開かれていて、ついつい長居してしまいました。イルミネーションの競演が繰り広げられるなど、街は華やいだ雰囲気にも包まれていましたが、写真にあるように、中央三井信託銀行（日本橋営業部）の建物には往時の日本橋の絵図が絵巻物風に投影され. . . と、一風変わった演出もありました。クリスマスイブとは言え、ここはお江戸の日本橋。日本橋には日本橋の夜の華がある、そんな一幅の気概を感じさせる一枚です。



通りを左側（日本橋方面）に向けて走るは「[メトロリンク](#)」。無料のバスなので、つい調子に乗ってこの日は4回乗車し、中央区の一部をグルグル。安上がりなクリスマスなのでございました。(^^;

→こちらもどうぞ. . . 「東京モノログ」[第205話](#)～無料スポット&無料サービス（23区内編）

## #004 和田倉噴水公園 (2007.12.24)

2006年に続き、2007年のクリスマスイブも東京駅周辺で過ごすことにしました。いつもの如く「報道写真展」を見終えた後は、日本橋を渡り、COREDO〜八重洲地下街と経由して真新しいグラントウキョウサウスタワーへ。ここまで来れば丸の内はすぐ。JRを越えるとそこは別世界、まるで「光の都」でした。

ライティング・オブジェ、フラワー・ファンタジアなどで街路はどこも煌びやか。これだけでも十分だったのですが、この際なので和田倉濠の方にも、ということで足を延ばしました。濠上の木々を浮かび上がらせる幻想的なライトアップに導かれるまま、公園に入ればまた違った光の世界が一面。(^^)

「アンビエント・キャンドルパーク」とのテーマで、一帯には筒状のキャンドルが並び、当の噴水は厳かなながらも鮮やかな色で彩られ、つい長々と見入ってしまうのでした。



パレスホテルの緑と噴水の緑が重なったのがこの一枚。噴水のライトアップは白・青・赤・橙といったバリエーションで、それぞれ綺麗ではあったのですが、この緑をおいて他になし、といったところですよ。

→こちらどうぞ. . . 「東京モノログ」 [第56話](#)～東京ミレナリオ

## #005 東京タワーとテレビ朝日（2003.12.28）

---

2003年の年末、六本木ヒルズに出かけた際に撮った一枚です。ヒルズのミュージアムコクーン  
の脇から麻布台方面を望むと、左に東京タワー（当時45周年）、右にテレビ朝日本社という構図になり  
ます。タワーは割と近くに見えますが、[この地図](#)の通り、直線距離で約1.5km先です。



ちなみに左下から中央に向けてカーブする道路は「環状3号線」だそうです。略すと「環三通り」になりそうですが、聞いたことがないので、別の通称があるか、あるいは無名のままか．．．はてさて？

→こちらどうぞ．．．「東京モノログ」[第211話](#)～環状第8号線全通



## #006 品川駅西口（2005.01.09）

---

西口から品川駅を見ると、アレア品川（左）とアトレ品川（右）が競うように並び、駅舎を威圧するかのよう。おそらく今もこの見え方は変わらないはずですが、願わくば駅上の空は広々としてほしいものだと思います。

ちなみに、この写真を撮った場所も、品川駅全体も品川区ではなく港区に属します。



→こちらどうぞ. . . 「漂着モノログ」 (REAL verison) ~ 「[高輪四丁目アップダウン](#)」

## #007 薄暮の宮益坂（2004.01.13）

---

知人のウェディングパーティーの日。国連大学の近くのレストランで開かれるというので、渋谷駅から青山方面に向かいました。17時になろうとする時分、青く暮れてゆく宮益坂を撮った一枚です。

木々に括られた電飾が奥の方ほど深い橙色になり、赤信号と同化しているように見えるのが印象的です。



→こちらどうぞ. . . 「東京モノログ」第100話～[東京百景Ⅰ：神宮前5～東1](#)

## #008 秋葉原電気街 (2008.01.13)

---

暮色の中の電気街。16時半過ぎだったので、まだ歩行者天国中。中央通りの真ん中から末広町方面を撮った一枚です。

どこか明るさの残る人波と街並み. . . 同じような写真がまた撮ればいいのですが。



→こちらどうぞ. . . 「東京モノログ」[第254話](#)～丸の内シャトル延伸ルート

## #009 葛西の東なぎさ (2007.01.18)

---

[葛西臨海公園](#)からひたすら海辺をめざすと、橋を渡った先に「西なぎさ」が広がります。西があれば東もある訳ですが、その「東なぎさ」には歩いて渡れるアクセスはありません。

この日は「海辺の漂着物調査」(→[参考](#))を行うべく、ゴムボートで東なぎさに「上陸」しました。めったに撮れない、東京湾の一シーンです。(東なぎさでも漂流・漂着ゴミは多く見つかりましたが、この写真はそれらが見当たらない一帯を写したものです。)



→こちらもどうぞ. . . 「東京モノログ」[第234話](#)～城南島で東京湾の漂着ごみを調べる

## #010 丸ノ内線、ビルに吸い込まれる？の図（2008.01.20）

山手線の内側で地下鉄が地上で見られるスポットはいくつかあれど、こんな感じでビルに吸い込まれるように見える場所はここくらいなものでしょう。

水道橋駅から東京ドームを回り込んで、文京シビックセンターに向かう途中で、この入線シーンを見かけてドキリ。大げさに言うと、赤線が空を切るような風に見えたのです。数分待ち構えて、次に来た時に撮影しました。（銀座線の渋谷駅も上空という点では圧巻ですが、丸ノ内線も負けてはいませんね。）

これでビルがトンネルのようになっていて通過専用だったらなおビックリですが、[メトロ・エム](#)という商業施設を兼ねた「後楽園駅」。入るも出るもゆっくりなのは駅あつてのことなのです。

車両に目が行っていたので、あくまで偶然ですが、下の道路（千川通り）を都バスと文京区のコミュニティバス「[Bーぐる](#)」が連なって走ってくるのが撮れていて言うことなし。めでたく百景入りとなりました。



→こちらどうぞ．．．「東京モノログ」[第243話](#)～ドラマティックステーション

## #011 雪の庭園美術館（2006.01.21）

---

2006年の1月も寒かったです。（→[参考](#)） その割には雪に見舞われなかった訳ですが、この1月21日は別でした。

「[華麗なるマイセン磁器](#)」なる展覧会の招待券をもらっていたので、週末に行くことにしていたのですが、朝から雪。東京都庭園美術館はこれまでも何度か訪れていましたが、雪の中というのは初めてでした。展覧自体も標題通り華麗で美しかったのですが、見終わって外に出て、振り返るとこの通り。美術館自身が絵になる、という一例だと思います。



→こちらどうぞ．．．「東京モノログ」[第9話](#)～雪が降る

## #012 東西線@深川車両基地 (2007.01.27)

---

「深川車両基地」で検索すると、この日のイベントレポートが続々と出てきます。それだけセンセーショナルな催しだった、ということなのでしょう。

車両の引退セレモニーは、記念運行という形態もありますが、車両基地で見学というのものもある訳で、この「さようなら東西線5000系」イベントは、正に見学会。停車中の車両をじっくり、というのもいいものだと思います。

写真はその5000系を手前に、旧→新の順で並んだ状態を撮影したものです。労いの意と敬意を表しつつ、百景に加えさせていただきます。



→こちらもどうぞ. . . 「東京モノローグ」[第154話](#)～東急東横線二題

## #013 飯田橋 アイガーデンエア (2005.02.01)

---

国鉄時代の中央線にはかつて「飯田町」という始発駅がありました。（飯田橋～東京がない時代があった訳ですね。） 晩年の飯田町駅はJR貨物の専用駅でしたが、1999年に廃線・廃駅。その後、2003年2月5日、同駅跡地にできたのが「アイガーデンエア」（I-GARDEN AIR）ということになります。

2005年2月1日、神保町の職場から自転車に乗って飯田橋駅方面をめざす途中で同地を初めて訪れ、撮影したのがこの一枚です。南街区方向を見たら、2月らしからぬ雲が立ち上っていて、それがまた燦々としていたのを思い出します。（[この地図](#)で言うと、ホテルメトロポリタンエドモントとアイガーデンテラスの間あたりから、左：ガーデンエアタワー、右：東京しごとセンターの2つを収めた構図になります。）

それにしても[東京しごとセンター](#)って立派な建物ですね。



→こちらどうぞ．．．「東京モノローグ」[第178話](#)～恵方巻と中華まん



## #014 新宿駅の白雪（2008.02.03）

---

2008年の節分は、朝から雪に見舞われ、鉄道各線も大混乱でした。幸い埼京線・山手線は動いていたので、新宿まで出て来て、お目当ての花園神社の豆まき行事に参加でき、収穫も上々。雪の中、出てきた甲斐があったものだと思います。

写真は、14時過ぎに新宿駅に着いた際、埼京線ホームの北端から西口方面を撮ったものです。雪は止んでましたが、運転本数が少なかったこともあり、レール上にはうっすらと雪が。線路敷は時に散乱ゴミが目につくものですが、このように雪が積もればキレイなもの。雪化粧とはこういうことも言うんでしょうね。(^^)



→こちらもどうぞ. . . 「漂着モノログ」 (REAL verison) ~ 「[2月3日は4℃](#)」

## #015 北とぴあから南西を望む（2004.02.06）

---

北区を代表する高層建築物と言えは「[北とぴあ](#)」。かつてはこの11階に勤めていたので、今回のような写真が何枚かストックしてあります。この日はとにかく西日が強く、何かと違って窓から西～南西方向を見てみたら、この通り。住所表示で言うと、北区王子本町と滝野川全域を視野に収める感じになりますが、左にはサンシャイン60、夕日の左隣には板橋駅近接の「板橋ビュータワー」がそれぞれ存在感を示し、豊島区や板橋区も見渡せることを訴えかけてくるのでした。

17時前でしたが、手前ほど暗くなっていて、中央やや左、北区役所の本庁舎が辛うじて目に留まる頃合い。庁舎の後方に立つ棒状の物体の方がハッキリ見えます。（ちなみにこの棒、豊島区清掃工場の煙突です。）



→こちらもどうぞ．．．「東京モノログ」[第148話](#)～12時出発、21時帰宅

## #016 21時の青山通り (2003.02.14)

こんな時間に青山通り？ バレンタインデーの夜に青山と来れば、打ってつけのロケーションだけに突っ込まれそうなところですが、どうということはありません。当時の筆者はこの写真左手（写ってませんが）にある「[地球環境パートナーシッププラザ](#)」（国連大学1F）に勤めていたので、残業で遅くなり、何となく歩道橋を渡って帰ることにすればこういう写真はいくらでも、とそれだけの話です。（^^）

右手の暗がりには青山学院、奥の建て込んだ一帯は青山五丁目三叉路に当たります。左の車線は空いてますが、右の渋谷・世田谷方面の車線は結構な交通量。タクシーが多いなあ、と眺めていたのを思い出しますが、残念ながらどんな客が乗っていたかは不明。勤め帰りの客よりもデート帰りのカップルの利用が多かったかも知れませんね。



→こちらどうぞ．．．「東京モノログ」[第246話](#)～246号線（青山通り）

## #017 神田川を囲む赤色（2004.02.17）

---

神田川に面した雑居ビルの一室で打合せした後の帰り、聖橋から神田川下流方面を写した一枚です。（橋の上のこの位置、辛うじて文京区になります。念のため。）

5年前、丸ノ内線の車両はこの通り赤地に白線、中央線の快速電車も全面朱色、川の向こうの秋葉原のネオンも赤が目立ちます。今、同じ光景を見晴らした時、残念ながら赤一色の車両が通ることはもうありませんが、秋葉原の赤は健在です。

まだまだ寒さ厳しい折ですが、近くを通ることがあれば眺めてみてください。17時過ぎ、が目安です。



→こちらどうぞ．．．「東京モノログ」[第247話](#)～生態河川は遠く

## #018 南新宿の空と小田急線と (2008.02.23)

---

土曜日はゆっくり、と行きたいところですが、この日は朝から六本木に向かい、美術館二つ（「ローレック展」と「没後50年 横山大観展」）を掛け持ちで廻りました。筆者宅から六本木に行く時は、新宿で下車して、代々木まで歩き、大江戸線で、というのがお決まりで（代々木～六本木は初乗り運賃170円で済むので）、帰りはその逆。

代々木から新宿に向かう際、山手線西側の道路を進むと、かつては小田急線の開かずの踏切で足止めを食ってましたが、今はサザンテラスの延長というか、サザンテラスに誘導するための昇通路ができたおかげで、時間的なロスはなくなりました。（ひと駅分歩こうという気分を一層高めてくれる訳です。）

16時過ぎにその踏切に差し掛かったら、下り列車が行った直後で、すんなり渡れたので、記念に一枚。改めて見てみると、左側の山野美容専門学校の[新キャンパスビル](#)、右側の小田急新宿ビルが壁のように建ちはだかり、南新宿の空をぐっと狭めてしまったことに気付きます。小田急線の車両が小さく見えるのは、そんな壁のせいでもあります。その走り去っていく様はどこか堂々たるものを感じます。

山手線東側（埼京線側）の線路沿いの道でもいいのですが、やはり西側。筆者的には、道選び＝景色選びなのでした。



→こちらどうぞ. . . 「東京モノログ」第100話～東京百景Ⅰ：[代々木3～千駄ヶ谷4](#)

## #019 中央通りの黄昏（2003.02.27）

---

中央通りと言えば、上野と新橋を結ぶ通り（銀座線の上）がメジャーですが、新宿西口にもそれはあって、その名に恥じぬ堂々ぶり。距離は短くとも高層ビルの正に中央を真っ直ぐに抜ける様は壮観と言っていいでしょう。

この写真を見る限り、その高層な感じはうかがえませんが、新宿副都心らしい整然とした空気は伝わってきます。街灯の奥は新宿中央公園になり、中央通りはそこでおしまい。公園がちょっとした空間を生み、街路が2月の黄昏を運んでくる、そんな一枚です。

スバルビルの後方は当時はゆとりがあった訳ですが、今はご存じコクーンタワーがそそり立ち、おそらくこのようなゆったり感は味わえなくなっていると思われます。変化あってこそその新宿、と考えればいい話ですが、変わらないでいてほしいものもありますよね。



→こちらどうぞ. . . 「東京モノログ」 [第256話](#)～昭和63年 其の一

## #020 表参道ヒルズ（同潤館と本館）（2006.03.03）

---

表参道ヒルズがオープンしたのは3年前、2006年2月11日のこと。新名所は早めに見に行くようにしている筆者ですが、当時は思うように機会が作れず、3月3日になってやっとのご対面となりました。（この日は青山で講演イベントがあり、その手伝いで表参道に来た次第。19時スタートなので、時間的余裕はなく、ヒルズの中を訪れるのはまた次の機会になります。）

で、とりあえず来た記念に撮ったのがこれ。18時半過ぎでしたが、すでに夜中のような風情に見えるのは同潤館のノスタルジックな灯りのせい？ 対照的に街灯やヒルズ本館は都会的な眩ゆさを演出し、その反射が夜空も少し明るくなっているように見受けます。



→こちらどうぞ．．．「東京モノログ」[第146話](#)～同潤会アパート



## #021 日暮れ時の日暮里（2007.03.08）

---

とある作家先生の自家マンション屋上に上がらせてもらった際に撮影した一枚です。17時半過ぎで日没間近。ただし、日暮里駅周辺の大きめの建物に夕日が隠れたおかげで、残照のような紅と町並みの黒とがくっきりと分かれる恰好になりました。

その建物の左隣は、おそらく日暮里・舎人ライナーの新駅とセットで建てていたタワービルと思われませんが、暗いので何とも。もっとも、日暮れ時ゆえのこの風景です。それをただ楽しめばいい訳で、建物の名称云々を問うのは無粋というものでしょう。

日暮里と称される理由が何となくわかります。（\*新堀(にいほり)が転じて日暮里になったそうですが）



→こちらもどうぞ．．．「東京モノログ」[第259話](#)～人と里を結ぶ新交通

## #022 春の城南島（つばさ浜）（2008.03.08）

都内で「海辺の漂着物調査」を実施しようとする、島嶼部ならともかく、23区となると自ずと東京湾沿岸に限られてきます。東京湾=海、というのはピンと来ないかも知れませんが、湾の西側、例えば大田区には[城南島海浜公園](#)という好ロケーションがあり、この写真の通り、ひと目で海とわかります。ここで調べる分には十分、海辺の～で通る訳です。

海のきらめきを見ていると、温暖な印象も受けますが、この日の羽田の最高気温は約12℃。ポカポカ陽気とは言えないものの、地場のアサリを獲っている人達がチラホラいて、春の到来を感じさせます。



ちなみにこの日の漂着物（10×20m四方）は、プラスチック類364個、紙類88個を筆頭に、合計個数は543（重量267g）でした。

\*全国各地の海辺では、海外からの漂着物が多々見つかって問題視されますが、国内河川から流れ込むものが大半。ともかくゴミだらけの海浜が多いのは厳然たる事実です。城南島は至って穏やかゆえ、ゴミ処理に苦勞することは比較的少ないでしょうけど、こまごましたゴミを拾って調べるのもまた勞を要するものです。（このような景色を楽しみに来たついでの調査、と考えるようにしています。）（^^）

→こちらどうぞ. . . 「漂着モノログ」 (REAL verison) ~ 「[城南島にて](#)」

## #023 新河岸川とその先の隅田川（2006.03.17）

---

朝、8時半過ぎ。所用で国土交通省の[荒川下流河川事務所](#)に向かう途中で撮影した新河岸川です。同事務所は荒川・新河岸川・隅田川の三河川にアクセスしやすい好立地にありますが、公共交通を使って行こうとするとひと苦労。筆者も自転車で駆けつけることとなります。（比較的近所なので可能な話）^^;

三月にしては寒々とした印象を受けますが、川というのは往々にしてこういう表情を見せるものです。それでも空の色合いをそのまま投影するため、東の明るさが映る辺りは穏やかな感じ。その明るくなっている方向、つまり川下の奥側は川の名称が変わり、隅田川になります。

ちなみに左の土手の裏は荒川で、土手の先に見える箱（4つ）と青い壁は通称「青水門」（新岩淵水門）になります。



→こちらもどうぞ．．．「東京モノログ」[第218話](#)～浸水想定深を探る

## #024 萬世橋駅 (2006.03.19)

駅の構造物はまだ残っていると思いますが、このような見学・撮影ができるのはしばらく先かそれとも．．．といったところでしょう。

交通博物館が閉館される前は「さようならキャンペーン」ということで、館の内外でさまざまな催しが開かれ、この日も、乗り物模型蔵出し大公開、同館所蔵洋画特別公開、写真でふりかえる交通博物館85年のあゆみ展、をはじめ、「旧万世橋駅遺構見学会」なる一大イベントも行われたのでした。駅の古びた階段を上がると、写真のような見晴らし。ホームに降り立つことはできませんが、中央線快速列車が間近に見られるので、駅ならではの臨場感を楽しむことができます。

右から左に読むのも古風ですが、御茶ノ水の水が「みず」になっていないところもまた趣深いですね。この駅名標、下り快速列車に乗り、神田を出たら進行方向右、でお目にかかれるはずです。



→こちらどうぞ．．．「東京モノログ」[第206話](#)～なくなるもの、開かれるもの

## #025 在りし日の文化学院（2006.03.27）

---

千代田区が続きますが、今回は神田駿河台から。最近は近くを通る機会がないので、どういうことになっているのか不明（[参考](#)）ですが、3年前はまだこのような状態で、古き佳き佇まいを見せていた文化学院の校舎です。

建物も趣深ければ、ここの街路もまた格調があり、その名は「とちの木通り」。この辺りが台地になっていることを示すようにこの先、とちの木通りを水道橋方向へ少し歩くと左手に「男坂」なる急な階段道に出くわします。健脚を試すには格好の階段だと思います。



→こちらどうぞ．．．「東京モノログ」[第170話](#)～証明写真を撮るなら

## #026 千代田図書館の窓から (2008.03.29)

建物の名称は「九段第三合同庁舎」ですが、千代田区役所も入っているの単に区役所でも通用するかも知れません。東京の中心の千代田区ですから、役所も立派なら図書館もなかなか。その庁舎の9階・10階に[図書館](#)はあり、9階の窓からはこのような眺望が楽しめます。

平日は夜10時まで開館しているそうなので、ライトアップがされていれば夜桜も観られることでしょう。読書をしつつ、時に観桜、そんな風流な時間を過ごすには打ってつけの場所だと思います。

手前の門は清水門。左手の濠は清水濠。その濠上の桜の隣りは皇宮警察の宿舎だとか。清水門の先は皇居（北の丸公園）の緑。そのまた奥の高層建築の並びは、右から紀尾井町、赤坂、溜池と続くことが外観（ホテルニューオータニ、山王パークタワーetc.）からわかります。桜や緑に限らず、ちょっとした都市景観を楽しむにも良さそうです。



→こちらどうぞ. . . 「東京モノログ」 [第258話](#)～パソコン持込対応etc.

## #027 ゆりかもめ延伸開業初日の市場前（2006.03.27）

#025の文化学院を撮った日と同じ、この3月27日はよく動いた一日でした。神保町で所用を済ませた後は、新宿、東京を経て、豊洲へ。ゆりかもめが有明から延びて豊洲まで達した延伸開業の初日だったため、出来立ての路線と駅を見物しに出かけたのでした。（「市場前」駅で下車して撮影したのがこの一枚です。）

東京都による「[豊洲新市場基本計画](#)」を見ると、この工事中のエリアは4街区に当たり、市場や流通に関する施設は設置されない見込み。何ができるか不明ながら、しっかり整地は進められていて、トラックの往来も激しかったのを思い出します。（今はどうなっているんでしょうね。）

青いカーブは晴海大橋（2日前に開通）、その先にそびえるのは晴海アイランド トリトンスクエアのオフィスビルです。



→こちらどうぞ．．． [ENVIROASIA記事～「築地市場の移転先、豊洲の土壤汚染をめぐる行方」](#)



## #028 新宿大ガード東 (2008.04.01)

大ガードの存在はハッキリしないものの、走行中の列車（上り埼京線）がその高さを示しています。大ガード東交差点の一角から新宿西口に向けて撮った一枚ですが、ガードって案外低かったんだなあ、というのがわかるかと。

一番下はサブナード入口を示すオレンジ、電車の上部は赤・青・黄色の電飾眩しく、そのまた上では損保ジャパン本社ビル、エルタワー、コクーンタワー（昨年はまだ建築中）などがモノトーンを競う．．．色のある街・新宿ならではの光景と言えるでしょう。

という訳で、こんな夜景が楽しめる夜の7時がお気に入り。BGMはズバリ、「[東京は夜の七時](#)」（by Pizzicato Five）ですね。（矢野顕子が歌う同名異曲は、同じ東京でも郊外向き？）(^\_^;



→こちらどうぞ．．．「東京モノログ」[第126話](#)～埼京線、南へ

## #029 牛ヶ淵の夕桜 (2003.04.07)

---

いつもなら千鳥ヶ淵を端から端まで観るところ、この日は時間の都合もあり、九段坂を上ったり下りたりしながらの簡単なお花見にとどめました。坂を下る途中、田安門を過ぎれば眼下は牛ヶ淵。桜と[九段会館](#)という構図もさることながら、オレンジの照明とそれが淵の水面に弧状に映る様がまた趣深いと言いますか. . .

18時半過ぎでしたが、空にまだ明るさが残っているのが何となくわかります。



→こちらどうぞ. . . 「東京モノログ」[第134話](#)～半蔵門線

## #030 タイムズスクエアと夜空（2006.04.14）

幼少時の記憶では、新宿駅に南口はなく、ただ甲州街道が無粋に通っているだけでした。その南口は大きく変貌し、乗り降りや通行の量は都内でも随一。駅の南方はこのような都会的景観を誇り、新南口に加え、サザンテラス口（この日はオープン前日）までできるに至りました。人工地盤がもっと大きければ隣の代々木駅と一体化してもおかしくないくらい南の充実ぶりは目を見張るものがあります。

ドコモのタワービルの時計を見ると何となくわかると思いますが、短針と長針が重なる時分。20時40分頃の一枚です。頃合いがよかったようで、タイムズスクエアの左上あたりに、うっすらと月が顔をのぞかせ、新宿の明るい夜空を程よく調和するかのよう。手前は道路工事等でゴチャゴチャしてますが、不思議と落ち着きを感じられるのは、そんな夜空の広がり、あと光や雲など全体的に白が目立つせいかもしれませんね。



→こちらどうぞ．．．「東京モノログ」[第208話](#)～変化あつての新宿駅

## #031 青山の虹 (2003.04.19)

それは午後6時前のことでした。仕事を終え、外に出ると見事な虹が！ 通り雨の後のことだったので、虹が出る条件は整っていたのですが、夕刻には似つかわしくない陽射しも手伝い、このようにくっきりと浮かび上がったんだと思います。

[こどもの城](#)の前にあるオブジェ「こどもの樹」(作:岡本太郎)は横から見てもまたインパクトがありますが、その枝(?)の一つに虹が降りてくるような構図になっているため、どこかほのぼのとした感じ。偶然ですが、青山学院前歩道橋を渡る人の持つ傘の透明感ある赤と青がアクセントになっている点も見逃せないですね。

青山と来れば表参道ですが、この国連大学と青山学院の界隈もなかなか(歩道も広い)だと思います。散歩コースとしては、宮益坂～青山通り～(港区と渋谷区の区界を縫うように裏道を通って)～表参道がオススメ。いかがでしょう？



→こちらもどうぞ... 「漂着モノログ」(REALverison)～「[港区北青山三丁目の2つの店](#)」

## #032 銀座四丁目交差点（2008.04.20）

---

正午から18時まで行われる銀座の歩行者天国。13時前の1シーン（銀座四丁目交差点から新橋方面）です。

この日はパツとしない天気でしたが、撮影したものをこうして見てみると結構な人出だったのがわかります。信号が変わって動き出すのはクルマではなく人、人。そんな人々の足取りには力強さがあり、思わず後ずさりしてしまいそうです。



→こちらどうぞ．．「東京モノログ」[第113話](#)～アイスクリーム

### #033 東京タワー 17時 (2005.04.21)

---

芝公園三丁目のT字路から東京タワーを撮りました。この歩道橋の辺りも芝公園の一角ですが、最寄駅は御成門。で、当の芝公園駅はと言うと、ここから400mほど南にあるようで、公園が南北に長いことを改めて知ることになります。

東京タワーへの鉄道アクセスは、日比谷線の神谷町がポピュラーですが、坂を上る覚悟があれば御成門もお手頃。道中の目印はこの角度のタワーです。



→こちらどうぞ. . . 「東京モノログ」[第142話](#)～都心周遊（都バス編）

## #034 道玄坂レトロ (2007.04.26)

---

道玄坂の途中にある一角です。何ともレトロでカラフルな小店が軒を並べていて、「街角」的な光景を演出していた訳ですが、残念ながらこの当時ですでに店じまい状態。今となっては見る影もないことでしょう。

東急文化会館も然り、かつての渋谷の面影を残す建物がなくなっていくのは寂しい気もしますが、こうした新旧交代プロセス (渋谷カシバヤカ) があるからこそ街は息づく、ということなんでしょうね。

それにしても後方のマークシティの大きさと言ったら．．． (^;)



→こちらどうぞ．．．「東京モノログ」[第265話](#)～渋谷ハンズ30周年

## #035 雨上がりの線路（牛込橋にて）（2007.04.28）

---

JR飯田橋駅の西口を出るとそこは牛込橋。改札の反対側の歩道に出て、電車が来ないタイミングを狙って撮りました。（逆に四本とも電車が通る瞬間もあると思いますが、それなりに粘る必要があります。）

この日の天気は概ね晴れでしたが、通り雨があったため線路が鈍く光っています。重たそうな緑と線路の濡れた感じが鉄路の重厚さを強調するかのよう。「ここに鉄道あり」といった一枚だと思います。

ちなみにこの位置からだ「外濠」が見えにくいですが、その濠を境に新宿区と千代田区に分かれます。（濠の内側、つまり中央線・総武線の複々線側は千代田区になります。）



→こちらどうぞ．．．「東京モノログ」[第280話](#)～中央線とスタンプラリー



## #036 墨田区と中央区の境（隅田川）（2006.05.01）

---

5月初日だと言うのに、この日の東京はほぼ真夏日（→[参考](#)）。とにかく暑かったのですが、譲ってもらった自転車がある事務所からある事務所へ自分でこぎながら移動することにしたため、ちょっとしたサイクリング（またはエクササイズ？）デーになりました。

神保町から靖国通りに沿って東へ。13:45、両国橋でひと休みしていたら、隅田川を水上バスが下っていきました。自転車移動の記念もこめ、撮影したのがこの一枚です。



橋の真ん中で撮ったため、墨田区と中央区のちょうど区界に当たるのですが、水上バスの航路は墨田区上でその航路に近いため、今回は墨田区扱いとしました。ちなみにこの水上バス、東京都観光汽船の「[隅田川ライン](#)」（浅草発、日の出棧橋行き）で、船の名は「[リバータウン](#)」と言います。

→こちらもどうぞ．．．「東京モノログ」[第215話](#)～自転車で23区を走る

## #037 横羽線と大師橋 (2008.05.01)

---

京急天空橋駅から多摩川沿いに歩くこと1 km以上。二つの道路橋が川向こうで交わるのが望める場所がここです。左が首都高速神奈川1号横羽線、右が国道131号線（大師橋）。高速道路よりも一般国道の橋が立派なので取り違えてしまいそうですが、[このページ](#)を見れば一目瞭然。16年をかけて架け替えただけのことはあると思います。

多摩川の漂着物の様子を見に来たつもりが、この橋を見て予定変更。渡れば何か発見があるだろう、ということでしっかり足を延ばし、京急大師線で帰途に着くことになったのでした。産業道路駅の近くで大がかりな道路工事が行われていたのを思い出しますが、[この情報](#)を見つけて改めて納得した次第。橋の交わる先というのはやはり交通の要衝になるんですね。



→こちらもどうぞ. . . 「東京モノログ」[第272話](#)～2008年10大ニュース（関連記事は10.と6.）

## #038 表参道の新緑（2007.05.08）

---

コスモス青山にある環境団体での会合の後、表参道駅周辺を散策した際に撮りました。街路樹の緑眩しく、真昼のような印象を受けますが、撮影時刻は17時。「港区」の標示もそうですが、そそり立つ建物（ハナエモリビル）も西からの陽射しを反射し、明るさを保つのにひと役買っているようです。

\*港区に向かって撮っている訳ですが、撮影地基準で渋谷区としました。



→こちらどうぞ．．．「漂着モノログ」（REAL verison）～「[自転車タクシー](#)」

## #039 六本木一丁目駅下車すぐ (2004.05.14)

---

六本木と言えばヒルズにミッドタウン...ですが、同じ六本木でも一丁目に来るとまた違ったスポットがあります。東京メトロ南北線の六本木一丁目駅下車すぐ、改札直結でアクセスできるのがポイントです。

この「[泉ガーデン](#)」、存在感としては地味かも知れませんが、小洒落た雰囲気漂います。神谷町から城山ヒルズ経由で訪れるのも良さそうです。



→こちらどうぞ. . . 「東京モノログ」[第74話](#)～南北線、さらに南へ

## #040 東急大井町線と西空（2007.05.19）

---

この日の午後は不意の土砂降りで大変でした。外を歩いている最中は幸い降られなかったので、雨の写真はありませんが、降った後はこの通り。まだ怪しげな雲が漂っていますが、東急大井町線が向かう西の方角はうっすらと紅くなっていて、「明日は晴！」と予感させます。（事実、5/20は晴天でした。）

大井町駅は随分と様変わりしましたが、高架の線路が走る風景は変わらず、線路上の空も広いまま。あまり乗り降りする駅ではありませんが、近くに来ることがあれば足を延ばしたくなるのが大井町です。

この線路沿いに歩けるのは500m程ですが、品川区役所方面を進み、さらに行くと今度は湘南新宿ラインが通る線路に沿って歩けます。（距離はそこそこありますが、気が付くと大崎に着いている、そんな感じかと。）



→こちらどうぞ．．．「東京モノログ」[第163話](#)～水質調査と人力車@大崎

## #041 環八通りが延びた日 (2006.05.28)

---

環状道路と言いながら、その環がなかなかできなかった環八通り（都道311号）。それがめでたくつながったのが今から2006年のことでした。

全通初日の5月28日に自転車を駆って、かつての行き止まりだった相生町まで行ったらこの通り見事に先が続いていて感慨モード。18時頃でしたが、この明るさだったので、しばらく先（西台一丁目南丁字路）まで行って戻ってきたのであります。いわゆる「走り初め」です。

道路は真新しい訳ですが、ご覧の通り、電線は従来通り。環八通り全体では地下化されている部分も多いと思いますが、この辺はNGでした。（電線抜きでは東京の風景は語れない？）(^\_^;



→こちらどうぞ．．．「東京モノログ」[第249話](#)～東西新井参り

## #042 池袋13 : 11発 きぬがわ5号 (2006.05.29)

JRと東武の相乗り特急がデビューしたのが2006年3月のダイヤ改正時。以来、時々見かけてましたが、停車中にタイミングよく居合わせることはそう多くはありませんでした。

この時はたまたま発車するところで遭遇。カメラを構える余裕はそれなりにあったため、こんな感じで撮れました。東武のスペーシア型ではなく、JRの元「[彩野](#)」型車両の「きぬがわ」号です。

塗り替えた(=お色直し?)のでパツと見はきれいですが、新造した車両ではないので多少旧式な部分があるのが特徴です。



→こちらどうぞ. . . 「東京モノログ」[第109話](#)～私鉄特急

## #043 銀座一丁目の夜（2005.06.09）

---

当時は京橋にあった某環境保護団体での会合の後、せっかくなので「銀ブラ」をしながら帰ることにしました。

銀座一丁目に着いた時点で21:50。この写真はその時のものですが、夜中だということにこの明るさ！ やはり銀座だから、でしょうかね。

そんな白色光の華やかさがあふれる中、手前のみずほ銀行の青、青信号の上の青文字（GINZA ITOYA）とが効いて、どこか静寂な感じを受けるのがまた何とも．．． 「オトナの街」の一面を見る想いです。（静の字に青が入っているのも頷けます。）



→こちらもどうぞ．．．「東京モノログ」[第196話](#)～街の光彩（再）



## #044 路面電車の日@荒川車庫 (2006.06.10)

6月10日は路面電車の日。2009年も催しが開かれるようですが、10日当日ではなく7日に行われるようです。(→[参考](#))

3年前の路面電車の日は土曜日だったので、フラリと行って来れました。この時に特別に展示されていたのがこの黄色の2パターン。今でも見ることができるのは右側の7022号車です。(→[車両ギャラリー](#)) JRホーム(大塚、王子)から遭遇できたならちょっとしたものだと思います。



→こちらどうぞ... 「東京モノログ」 [第140話](#)～路面電車

## #045 山手通りは工事中（2007.06.11）

---

フラリと東中野に来てみたら、山手通りが妙なことになっていて思わず撮影。この時は何の工事だか見当つかなかったのですが、改めて調べてみたら、首都高速「中央環状新宿線」（→[参考](#)）を造っている最中だったことがわかりました。

本来ならまっすぐで良さそうなところ、このようにカーブしていて車も走りにくそう？ どうせならスピード感のある写真の方が百景にふさわしいのでしょうけど、主役はあくまで六月の空と雲、ということで。（お粗末）^^;



→こちらどうぞ．．．「東京モノローグ」[第102話](#)～東京百景（Ⅲ）

## #046 麴町六丁目の夕日（2008.06.12）

---

新宿通りを歩き、四ツ谷駅へ。半蔵門から順序よく続く麴町1・2・3・4・5丁目は、この先で6丁目になります。

この時期はとにかく西日がよく当たるので、帰り道はいかに日射を避けるかが課題。それでも時にはこんな夕景が堪能できるので、避ければよいというものでもないですね。

日が沈むまでにはまだ時間がありそうですが、撮影時刻、18時10分台でした。



→こちらもどうぞ．．．「東京モノログ」[第190話](#)～震度4後の新宿通り&タクシー地名考（新宿西口編）

## #047 新宿伊勢丹 19時過ぎ (2008.06.12)

東西の移動では時間をとられますが、移動のしにくさも街の個性。東と西それぞれの特徴が明確なのも新宿ならではの、と言えるでしょう。都会の凛とした空気を感じるなら西、ざわめきの中に身を委ねるなら東、大ざっぱに言うとそんな街だと思います。

この日は東京メトロ副都心線が開業する前々日。新しい通路や出入口を下見しに、[#046](#)の後で新宿三丁目に行った訳ですが、随所に新たな息吹のようなものを感じました。

新宿伊勢丹にもどことなく気概を感じるのは、新しい路線で新しい客が入ってくることを受け止める、当地の代表格とも言える存在だから、でしょうかね。

こうした看板店が牽引しながらも、賑わいが賑わいを呼んで進化していく東の新宿。好きな街の一つです。

(ちなみに2007年度の新宿三丁目駅の一日平均利用客数は46,073人。2008年度は副都心線効果が表れ、倍の92,492人！だそうです。こうした数字からも賑わいの程がわかります。)



→こちらどうぞ. . . 「東京モノログ」[第262話](#)～新線の延伸 (F線レポート 前編)

## #048 品川区役所 屋上ビュー (2008.06.23)

---

屋上緑化の実例を見学するならここ品川区役所の「エコ・ヒーリングガーデン」 ([参考](#)) がいいでしょう。この日は一応見学に来たのですが、屋上だけに眺望もなかなか。あいにくの曇天ながら、こんな感じで広々とした景色が見られるので、確かにヒーリング効果はありそうです。

写真は西の方角を写したものです。新幹線ビューが楽しめます。



→こちらもどうぞ. . . 「漂着モノログ」 (REAL verison) ~ 「[トレインビュー@北品川](#)」

## #049 二子玉川ステーション (2008.06.23)

#048の後、大井町に戻り、東急大井町線の急行列車に乗って終点まで。かつて等々力に住んでいた時分には各駅停車しか走ってませんでしたから、夢心地での乗車でした。(とは言え、懐かしの等々力をサラリと通過してしまうのは何とも複雑な気分でしたが...)(^^;

乗ってきた新型車両を記念に撮ったのがこの一枚です。二子玉川という場所柄か、外国人女性がさりげなく写っているのがポイントです。(よく見ると対面ホームにも外国人と思しき親子がいます。)



→こちらどうぞ...「東京モノログ」[第143話](#)～夏は花火!

## #050 吾妻橋とアサヒビール（2005.06.28）

---

[#017](#)、[#035](#)、[#036](#)に続く「区境にある橋シリーズ」です。被写体であるアサヒビール（[吾妻橋本部ビル](#)）は墨田区になりますが、吾妻橋は台東区と墨田区に架かる橋なので、カメラを構えた場所を正確に把握していないと「はて、どっち？」ということになります。（ここでは「台東区」としました。）

火の玉をイメージしたというおなじみのオブジェが乗っているのがスーパードライホール。その中のビアホールでちょっとした集まりがあったのがこの日でした。夏至から数日後、まだまだ明るい19時前の光景です。



→こちらどうぞ．．．「東京モノログ」[第237話](#)～川の日の過ごし方（文花、向島、浅草）

## #051 大久保、夕雲（2007.07.11）

---

中央・総武線の各駅停車でのんびり新宿に向かっていた途中、西の方が妙に紅くなっているのに気づき、大久保駅で降りたらこの通り。

夏の空は不意に不思議な色になることがあります。これはその一例です。夕焼け空だとすると翌日は晴れそうなものですが、「[過去の天気](#)」を見ると雨になってますね。この雲の感じは要注意かも知れません。（ちなみに2006年8月8日も強い紅に空が染まった日でした。翌日はやはり雨。）



→こちらもどうぞ．．．「地球市民村blog」[村十景#10](#)～夕風、飛行機雲、一日の終わり



## #052 明石町から浜離宮へ（2003.07.12）

---

築地市場を見学した後、波徐神社、おさかな普及センター資料館、隅田川テラスを經由して、「明石町・聖路加タワー前」へ。ここから東京水辺ラインの水上バス（游遊便）に乗って1区間。浜離宮に向かいました。

来た道に戻るような感じで隅田川を下り、浜離宮の手前で減速。向きを変えるところで撮影したのがこの一枚です。左に築地市場の水産物部の建物、勝鬨橋をはさんで右手にはビルの一群。中でも建設中の[プラザタワー勝どき](#)が目につきます。（今はこの界隈のランドマークになっていることでしょう。）



→こちらもどうぞ. . . 「東京モノログ」[第141話](#)～初めての築地市場

## #053 雨の昼下がり（代々木公園）（2007.07.14）

---

梅雨真っ只中の日曜日。それなりに雨は降っていたのですが、原宿から渋谷まで歩いて移動することにしました。

文化村方面をめざしていたので、経由するのは代々木公園。園路はこの通り、人通りも少なく、ただ静かに雨に打たれ、水溜りをつくるのでした。

賑やかな印象の強い代々木公園ですが、都会のオアシス的な一面もある訳で、雨の日ともなればマイナスイオン浴が可能。水分を含んだ木々の下はてきめんだと思います。



→こちらどうぞ. . . 「東京モノログ」 [第232話](#)～日曜日のアースデイ

## #054 右も左も麴町三丁目 (2008.07.17)

---

18時まであと15分。一日の終わりを告げるような空の色が建物の窓に鈍く映るこの感じは都心ならではの、と言えるでしょう。造形的な風景ながら、どこか心地よさを感じる一枚です。

横断歩道をわたる途中、新宿通り（四ツ谷方面）を撮ったものですが、住所で言うなら右も左も麴町三丁目。町名や〇丁目というのは大通りを境に変わるのが一般的ですが、麴町については一丁目から六丁目まで全て新宿通りの両脇に存在するのが特徴です。（初・麴町の人には、新宿通りの北か南かをしっかり説明しないとイケませんね。迷ったが最後、横断歩道を何度も往復してもらうことになってしまいます。）(^\_^;



→お知らせ. . . 「続 東京百景」の撮影ポイントを一目でご覧いただくため、Googleマップを活用し、[地図](#)を作ってみました。あわせてご高覧の程を。（最大ズームにしてもほぼ正確な場所を示すように設定）

## #055 英国大使館脇の緑道（2004.07.26）

---

この写真だけ見ていると別世界のようなのですが、右側の緑の隣には内堀通りが走り、そのまた隣は千鳥ヶ淵公園、というロケーションになります。

内堀通りはクルマの通行量もそれなりなので、喧騒が絶えませんが、この小径にいる限りは至って静か。英国大使館の格調も手伝って、落ち着いた感じで過ごせるのがここ（距離にして200m余り）の良いところです。



→こちらどうぞ．．．「東京モノログ」[第71話](#)～都心周遊

## #056 六本木通りと谷町JCT (2005.07.27)

---

六本木ヒルズ（森タワー）の52階から赤坂・霞ヶ関方面を撮影した一枚です。（56番目にして初のタテ写真） 19時前なので明るくはないですが、街の灯りが目立つほど暗くはない、つまり明暗が切り替わる最中はこんな感じ、という記録写真みたいなものですね。

最左から、プルデンシャルタワー、皇居の緑、国会議事堂、また緑．．と続き、その奥から六本木通りが弧を描いて下りて来る構図。道路が作る三角形は谷町ジャンクションで、高層ビルも合流するようにひしめいているのがよくわかります。ビルの中でもひと際目立つのはブロックを組み合わせたような深緑の塊ですが、これは[#039](#)で紹介した泉ガーデンの[タワー](#)です。（[#039](#)に写っているのはレジデンスの方）



→こちらもどうぞ．．「東京モノログ」[第2話](#)～南北線、南へ一步

## #057 サンシャイン×サンシャイン (2008.07.28)

---

東池袋にある中央図書館に向かう途中で撮りました。

「サンシャイン前」交差点からサンシャイン60を見上げると、最上階に正しくサンシャインが当たって、ネーミング通りの光景を撮ることができた、という訳です。

晴れた夏の日のおよそ11時半頃、この近くを通ることがあれば空を仰いでみては？ (^\_^)

\*ちなみに左側の弧状の物体は、東池袋出入口と首都高速5号線を結ぶ道路の一部です。



→こちらどうぞ．．．「東京モノログ」[第249話](#)～東西新井参り (再)

## #058 真夏日の迎賓館（2003.08.04）

---

夏期の一定期間のみ一般参観ができる迎賓館。2006～2008年は改修工事のため実施されなかったそうなので、2009年は久々に参観が行われていることになりますね。

2003年の参観期間は7/29～8/7の十日間。そのうちの一日、8/4に訪れた際に撮影した一枚です。

正面から撮ったものももちろんあるのですが、あえて背面にしました。ホテルニューオータニとの位置関係がこれでわかるとと思います。

12時までまだ時間がある頃合いでしたが、すでに32℃を超えていて、暑い□中での参観だったことを思い出します。



→こちらどうぞ. . . 「東京モノログ」第101話～[東京百景II：大京町～元赤坂2](#)

## #059 暮れなずむ新小岩公園（2006.08.08）

---

18時半過ぎから西の空がやけに紅くなり、新小岩公園を出る時点でこの通りの夕焼け色。この後、19時前の電車に乗り、荒川越えの1シーンも撮りましたが、その紅色がさらに深まり、川に注ぎ込む様は実に印象的でした。（あいにくブレてしまったため、掲載見送り．．．）(一)

夕刻になると時々ハッとするような赤や橙の空を見ることがありますが、これはその一例です。



→こちらもどうぞ．．．「東京モノローグ」[第286話](#)～七月の空を仰ぐ



## #060 小滝橋通りと入道雲（2008.08.08）

---

新宿西口カリヨン橋から大ガード方面を撮った一枚です。18時半を回ってますが空はまだまだ明るく、小滝橋通りの奥に見える入道雲も夕日の照り返しを受けて不思議な光り方をしているのが目に付きます。

そんな自然の明るさもあれば、都会ならではの明るさがまた煌々としていて実に色とりどり。何とも言えない妙味を感じます。

全体的に煌びやかな中、「さくらや 西口駅前店」が何となく暗めなのがまた象徴的というか．．．（ご存じの通り、今はユニクロになってます。）



→こちらどうぞ．．．「東京モノログ」[第63話](#)～ポイントカード

## #061 北千住駅西口（TX開業初日）（2005.08.24）

---

東京メトロの一日乗車券を駆使して、北千住駅に到着。つくばエクスプレス（TX）の開業初日なので、何らかの華々しさがあって然るべき？と駅の外観を撮影した訳ですが、マルイの一角に懸垂幕があるばかりでそれほどでも．．．（もちろんTXの駅構内は盛り上がってましたが）

「祝 つくばエクスプレス 開業」よりも、その隣の「HANDS MESSE」の方がカラフルで目立つ、というのがまた何とも、ですね。

何はともあれ北千住駅、随分と変わったものだと思います。



→こちらどうぞ．．．「東京モノローグ」[第192話](#)～つくばエクスプレス開業初日レポート

## #062 東海道線&横須賀線@大井工場 (2007.08.25)

---

かつては大井工場と呼ばれていましたが、今は「JR東日本 東京総合車両センター」。8月下旬になると「夏休みフェア」が行われ、一般公開されます。これは2007年に訪れた際に撮った一枚です。

左側の車両は湘南新宿ラインでもおなじみですが、ここでは東海道線ということにしましょう。対する右側はズバリ横須賀線、ですね。都内の駅ではなかなかこういう構図では揃わない（品川だと離れてしまうので、隣り合わせになるのはせいぜい西大井くらい...）ので、ちょっとレアなシーンと言えそうです。



→こちらもどうぞ... 「東京モノログ」 [第171話](#)～グリーン車がやって来た

## #063 東京レポート駅前からフジテレビ方面（2007.08.25）

---

[#062](#)での大井町から、京急バスに乗ってお台場へ。企画展の招待券をもらっていたので、まずは日本科学未来館に寄り、その後はヴィーナスフォート経由で、りんかい線の東京レポート駅に向かいました。

駅前のシンボルプロムナード公園からフジテレビ本社ビルを主に写したのがこの一枚です。夏のお台場と言えば、海浜公園や潮風公園、つまりシーサイドのイメージが強いですが、陸側はこんな具合でどこか牧歌的。喧騒を離れて過ごしたい人にはこっちの公園、オススメです。



→こちらどうぞ．．．「[サイエンスニュース！アジア展](#)」（日本科学未来館ホームページより）

## #064 江戸川区 江戸川駅 (2002.08.26)

「続 東京百景」中、最も古い写真、2002年からのピックアップです。

同年夏休み期間中、「成田空港探検スタンプラリー」なるイベントが開催されたのに合わせ、1枚1,000円の日乗車券が出ました。8月26日は、それを使って京成線三昧。新たに12の駅を訪れ、最後にやってきたのがここ江戸川駅だった、という顛末です。

江戸川区にある江戸川駅は、当然のことながら江戸川の河畔にあり、東京の私鉄の駅では最も東に位置します。そのせいか、東京ローカル感というか、旅情のようなものすら感じてしまいました。

鉄道橋の先は千葉県。橋の向こうに国府台駅（市川市）がかすかに見えます。



→こちらどうぞ. . . 「漂着モノログ」 (REAL verison) ~ 「[荒川駅](#)」

## #065 練馬区役所（2004.09.01）

---

文京区や千代田区の区役所（本庁舎）が立派なのは承知してましたが、練馬区もこの通り堂々たるものでビックリしたのを思い出します。この日の朝は練馬区のボランティアセンター（当時）にまず用があったので、こうしてやってきた訳ですが、ふだんは出向かないような訪問先が一つでもあると、あとはいかにして他の用件を詰め込んで、一気に廻るかが楽しみとなり、また腕の見せ所になります。（^^）

大江戸線を使えば練馬に出られるので、都営交通の一日乗車券を駆使することを思いつき、あととにかく都内をグルグル。1日はファーストデーで映画がお安いので、新宿で「ハリー・ポッター」を観て、その後は芝浦の博報堂本社で「愛・地球博」（地球市民村）の打合せに臨み、さらには神谷町の「[ストップおんだん館](#)」の見学と続きます。バスで青山に行き、そこから再び新宿に戻り、ハンズメッセ（最終日）に寄った後はまたまた大江戸線で六本木へ。青山ブックセンターでのちょっとしたセールを訪れ、六本木ヒルズでは、50F：都市未来研究所／53F：森美術館／52F：東京シティビューの3つ（共通招待券利用）を周回したのでした。

行ったり来たりが多く、あまり効率的ではなかった感じがしますが、一日乗車券があるとついこういう行程になってしまうものなのです。とにかく充実した一日でした。



→こちらどうぞ. . . JANJAN記事～「[『ストップおんだん館』を見てきました](#)」／「東京モノログ」[第168話](#)～青山ブックセンター

## #066 マインズタワー、サザンタワーなど（南新宿駅にて）（2006.09.03）

南新宿と言っても、所在地は渋谷区代々木。その代々木二丁目に林立するビルをまとめて写すとこんな感じになります。南新宿駅は高架なのでホームからの見晴らしがよく、小田急線の各駅停車に乗っている途中、ちょっとでも時間があればホームに降りて、空を見上げたものです。（沿線在住の頃の話ですが）

左から、新宿マインズタワー、J R東日本本社ビル、サザンタワーが肩を並べ、サザンタワーの手前にJ R東京総合病院が重なる構図になります。ちょっと目に付く病院でしたが、[この記事](#)によるとすでに外来棟はなくなっていることになりますね。という訳で、往時を偲ぶ一枚？です。



→こちらどうぞ. . . 「東京モノログ」[第177話](#)～小田急線 複々線化



## #067 京成押上線 荒川橋梁 (2006.09.09)

---

荒川下流河川事務所の巡視船「あらかわ号」に乗る機会があり、荒川を下った際に撮ったのがこの橋梁写真です。（この日のレポートは、「東京モノログ」[第217話](#)をご覧ください。）

遮光のためか、船窓が着色してあるようで、窓越しに撮るとうっすらと紅色がかってしまっていますが、風景が幻想的に見える、という点ではいいかも知れません。

この京成押上線の荒川橋梁、昔はもっと低くてローカルな感じだったのですが、1999年に今の形になりました。（架け替え工事については、[ここ](#)を参照）



→こちらもどうぞ．．．「漂着モノログ」（REAL verison）～「[巡視船紀行（2）](#)」

## #068 緑あふれる森のレストラン（日比谷松本楼）（2003.09.25）

「100円カレーチャリティ」、9月25日に行われるようです。2003年は創業100周年ということだったので、さらに特典も？と思い、いそいそと行ってきました。日比谷公園の方は大行列ができていましたが、店そのものは華やかな中にも厳かな感じ。とりあえず雰囲気だけ味わって、その場を後にしたのでした。

ここ[日比谷松本楼](#)のキャッチコピーは「緑あふれる森のレストラン」。歴史と風格があるからこそ成り立つコピーだと思います。



→こちらどうぞ... 「東京モノローグ」[第27話](#)～鉄道の日三昧

## #069 60階からの夜景Ⅰ～明治通り、新宿方面（2003.09.28）

---

#057では、下から見上げた朝のサンシャインを紹介しましたが、今回はその逆。[サンシャイン60展望台](#)から見下ろした夜景です。

右下のビルの連なりを追っていくと、真ん中の光の線に行き当たり、ちょっと左斜めに曲がって光に溶け込んでいくのがわかると思います。このビルの並びと光の線は、その屈折の仕方から明治通りであることがあとでわかりました。（その線というか帯は、雑司が谷から西早稲田の直線部分になります。）

明治通りの直線の先でひときわ明るくなっているのが新宿駅一帯。光が強いため、サザンテラスの建物が目立ちませんが、一応わかります。その光の左隣にはNTTドコモのタワー、対する右隣は新都心の高層ビル．．．他にもわかる人にはわかる建物がいろいろ写っていると思いますが、この解像度では厳しい(?) (^\_^;



→こちらもどうぞ．．．「東京モノログ」[第80話](#)～21世紀 初日の出

## #070 60階からの夜景Ⅱ～60階通りと東池袋一丁目（2003.09.28）

---

サンシャイン60展望台からの眺め、[#069](#)の続きです。

19時ちょうど、西側を見下ろした時の一枚。池袋の東口が手に取るようです。青い球状の光がアムラックスを囲み、その先に東急ハンズの緑のサイン、そして60階通りが煌びやかに池袋駅に向かって伸びていきます。

その60階通りを辺の一つとし、もう一边をグリーン大通り（池袋駅～東池袋駅）に、そして手前の道路を底辺とすれば整った三角形ができます。三角形は東池袋一丁目に属しますが、地図をよくよく見たら、実はもっと大きな三角形があることに気がきました。それにしても明治通りや豊島区役所も一丁目だったとは．．．



→こちらどうぞ．．．「東京モノログ」[第83話](#)～街頭配布

## #071 小石川後樂園と東京ドーム（2004.10.01）

---

10月1日、都民の日。入園無料ということで昼休みにフラと行った際に撮影しました。[小石川後樂園](#)です。

庭を造り始めたのが1629年というから、実に380年前。庭園の背景には今、大きな白い半球があったり、巨大な壁が建っていたり、昔では考えられないことになっている訳ですが、不思議と違和感を感じません。後世にどんなものが建っても風景が損なわれないよう設計したのだとすればおそろべしですね。



→こちらどうぞ．．．「東京モノログ」[第181話](#)～手荷物への配慮

## #072 旧岩崎邸洋館 (2005.10.01)

---

都民の日で入園無料となるスポットは[これだけ](#)ありますが、行けそうで行けない場所というのがあります。その一つが[旧岩崎邸庭園](#)。2005年に初めて訪れました。

庭園も趣深いのですが、邸宅がやはりメインでしょう。その洋館がこちら。

16時前、西からの陽がいい具合に当たって、光と陰ができました。決定的瞬間という程ではないですが、タイミングというのがあることを実感させてくれる一枚です。



→こちらもどうぞ. . . 「東京モノローグ」[第205話](#)～無料スポット&無料サービス (23区内編) (再)

## #073 江戸東京たてももの園 西ゾーン (2008.10.01)

---

これまでは23区内で百景をお届けしてきましたが、今回は外。小金井市にある「江戸東京たてももの園」の1シーンです。( #071・#072同様、ここも都民の日 [入園無料] スポットになります。)

現在地は23区外ですが、被写体はいずれもかつては区内にあったものです。手前の小出邸は文京区、奥の白い建物(常盤台写真場)は板橋区にありました。(→[詳細](#))

都内各地にあった建物を寄せ集めているため、一つの園内で、あちこち探訪できる気分になれるのがこの佳いところ。景観としては西ゾーンの洋館が並ぶ辺りがお気に入りです。



→こちらもどうぞ. . . 「東京モノログ」[第267話](#)～水と公園と海と

## #074 堀切駅 (2006.10.07)

---

2009年9月に放映された「出沒！アド街ック天国」では、「[京成関屋](#)」が出てきましたが、駅名の知名度は関屋よりも上でしょう。金八先生でおなじみの堀切駅（東武伊勢崎線）です。

陸橋を渡ると、荒川はすぐそこ。隅田川と荒川を結ぶ隅田水門もすぐに見つかると思います。



→こちらどうぞ. . . 「東京モノローグ」[第219話](#)～散髪 30分間



## #075 旧中川（カーブとカーブの間）（2006.10.07）

---

[#074](#)の帰りは東武亀戸線に乗り換えて「東あずま」へ。同駅からJRの平井駅をめざしました。

途中、平井橋を通ると、旧中川が程よい感じで流れていて、足を止めたくくなりました。橋の半分より手前で撮ったので、一応墨田区での一枚です。（橋の半分は江戸川区）

地図で見ると数字の3を反転させたようなカーブを描く旧中川ですが、ここはそのカーブとカーブの間の短い直線部分。護岸工事をしてあるのであまり風情はないのですが、いわゆる[自然再生を施した実例](#)でもあるようです。



→こちらどうぞ．．．「漂着モノログ」（REAL verison）～「[不自然な川づくり](#)」

## #076 西新井橋から荒川上流側を一望（2006.10.22）

---

[#075](#)に続き、今回も川景色ですが、やはり荒川はスケールが違います。西新井橋から上流側を眺めると、実に広々とした視界が開け、首都高速（右）も扇大橋（奥）も模型のように見えてしまうのでした。

左側には当地の名所でもあるヨシ原（足立の語源でもあるアシですが、'悪し'に通じることからヨシとします）と干潟が続きます。船舶が通ると、このように波が立つので、今では消波の仕掛けを設け、ヨシを保護しているそうですが、効果の程はどうなのでしょうね。

波があったらあったで、流体の躍動感のようなものを感じることができるので、'ヨシ'としたいところです。もともとそこにあった在来種であれば、きっと遅しいはず。人が手出しをするのは最低限でいいのです。



→こちらもどうぞ．．．「漂着モノログ」（REALverison）～「[西新井橋から荒川と河川敷を望む](#)」

## #077 新宿駅、新宿御苑、そして千代田区（2004.10.23）

---

この日は損保ジャパン本社ビルの[東郷青児美術館](#)で「ピカソ展」を鑑賞しました。展覧会が本分ではありませんが、美術館があるのは42階ということで、窓からの眺めが楽しめるのもポイント。新宿に集結する各百貨店の屋上はもとより、新宿御苑も一望できれば、皇居とその後方の大手町・日比谷に連なるビル群も見渡せます。

ちょっとしたビュースポットと言えますね。



→こちらどうぞ．．．「東京モノログ」[第161話](#)～デパート屋上お参り紀行

## #078 芝浦アイランドと東京モノレール (2008.11.01)

---

2008年11月1日の天気は上々でした。この日は芝浦からレインボーブリッジを經由してお台場まで歩くイベントに参加。風景を楽しみつつ、いい写真を多く撮ることができました。

まずは、スタート地点に近い芝罎橋から。芝浦アイランドの高層建築を眺めていたら、ちょうどモノレールが通ったのですかさず撮りました。

テーマは、運河の‘静’とモノレールの‘動’です。(^^)



→こちらどうぞ. . . 「漂着モノログ」 (REAL verison) ~ 「[京浜運河と東京モノレール](#)」

## #079 レインボーブリッジから見渡す東京港（2008.11.01）

---

[#078](#)の続き、レインボーブリッジ編です。

10時過ぎでしたが、その陽射しは朝早々のようで実に静か。海面はまるで肌理（キメ）のような模様を漂わせ、光を受け止めています。思わず息を呑みつつ、撮影しました。

左はお台場、中央には東京港トンネル（首都高速湾岸線）の換気塔、航路をはさんで大井埠頭、そして右側の品川埠頭. . . こんな感じで一望できるのはレインボーブリッジならでは。ここが「東京港」であることがよくわかる光景です。



→こちらもどうぞ. . . 「東京モノログ」 [第290話](#)～東京ベイエリア petit エコツアー

## #080 お台場の海（2008.11.01）

---

2008年11月1日三部作のラスト、お台場海浜公園からの海景です。この海もそうですが、[#078](#)～[#079](#)～と歩いてきたルートはいずれも港区内。広い港区にある小さな海、といったところですね。

折りよく東京都観光汽船（TOKYO CRUISE）の[ヒミコ号](#)が入港してきたので、停泊するのを待って撮りました。この船にはまだ乗ったことがないので、何とか機会を作ろうと思うものの、そう易々と乗れない（浅草の乗船場では長蛇の列に遭遇）こともわかっているので、こうして眺めるばかりです。（^^;

ただ、レインボーブリッジの下を通るにはこうした船を利用するしかありません。やはりいずれは、と改めて思います。



→こちらもどうぞ．．．「出沒！アド街ック天国」～[水上バスで行く 東京ベイエリア](#)（2007.08.25）

## #081 船から見る隅田川大橋（2008.11.02）

---

2009年は11月1日開催でしたが、2008年は11月2日でした。その名は「[中央区まるごとミュージアム](#)」イベント。区内を周遊するための船が無料で運航され、2008年は常盤橋（防災船着場）から日本橋の下を通り箱崎まで行くことができたのでした。（2009年は残念ながら日本橋の下を通ったらUターン、に変更）

日本橋川を下り、豊海橋を抜け、右手に永代橋が見えると隅田川に入ります。箱崎の防災船着場は川上にあり、その途中で下をくぐることになるのが隅田川大橋です。

その大橋を過ぎたところで振り返って撮ったのがこの一枚。川面に光の粒が散らばっている様が佳く、百景に加えました。



→こちらどうぞ．．．「出沒！アド街ック天国」～[水上バスで行く！隅田川タウンBEST50](#)（2008.03.29）

## #082 本店と本館（日銀旧館&日本橋三井タワー）（2008.11.02）

---

#081と同日、「中央区まるごとミュージアム」の続きです。タイムドーム明石や晴海トリトンスクエアなどを周遊バスで巡り、この日最後にやってきたのが日銀本店でした。

地下金庫などを見学させてもらえる「にちぎん体験」イベントに参加した後、外に出たところ、このような輝かしい光景が。ライトアップされた旧館とその上に乗るような構図で[日本橋三井タワー](#)が煌びやかに聳え立っていた訳です。写真のタイトルをひとひねりするなら「銀の上の金」と言ったところですね。(^^)

タワーの下には重要文化財・三井本館があります。日本銀行本店に三井本館、さらに三越本店も隣り合わせのこの辺り、日本橋だけに本がつく建物が多い、ということですね。



→こちらどうぞ．．．「東京モノログ」[第291話](#)～平成元年 其の三



## #083 ツリーとシャンデリア（恵比寿ガーデンプレイスの冬）（2002.11.03）

すっかり昔の写真になってしまいましたが、輝きはそのまま。恵比寿ガーデンプレイスのクリスマスモードを撮った一枚です。

2009年も11月3日に点灯式（[参考](#)）が行われたようなので、今となっては冬の風物詩とっていいでしょう。離れて見ると大きさを感じませんが、このBaccaratのシャンデリア、世界最大級だそうで、本体の高さは実に5mとか。価格の方はおそろしくてとても書けません。（^^）

\*撮影した場所はまたしても区界で、辛うじて目黒区であることがわかりました。80枚を超えたところでようやく目黒区からの初百景となります。



→こちらどうぞ．．．「東京モノログ」[第102話](#)～東京百景（Ⅲ）（再）

## #084 葛西橋（荒川の流れ、雲の流れ）（2005.11.12）

---

荒川河口から1 kmちょっと。最下流部と言っていい地点に葛西橋があります。撮影した場所は荒川と中川の間に挟まれた土手。ここに来たのは、テトラポットをすり抜けて、ヨシ原の根元に漂着するプラスチックの粒々（レジンペレット）を収集・調査するためでした。

案の定、ちょっとした収量になり、一同ビックリだったり、溜息だったりした訳ですが、川の流れ、雲の流れ、そして前日の雨から一転して、晴れ間が出始めた空の青に救われたのでした。

不穏な色調の中にも爽やかさがのぞく、晩秋の一光景です。



→こちらもどうぞ. . . 「漂着モノログ」（REAL verison）～「[漂着ペレットも使いよう](#)」

## #085 外苑前三叉路 (2007.11.19)

---

青山一丁目から渋谷めざして歩いた際、途中で撮った「外苑前三叉路」(≠交差点)です。

なぜわざわざ歩いたのかについては、[こちら](#)をご覧ください。とにかく青山通りは歩くのに適した道であることがこの時よくわかりました。

空の色といい、ヘッドライトの明るさといい、夜中のように見えますが、実はまだ17時台。冬至に向かうまでのこの1カ月(&冬至後の1カ月)のいいところは、「アフター5で早々と夜景が撮れること」ですね。



→こちらどうぞ. . . 「東京モノログ」[第138話](#)~止めてもいいけど. . .

## #086 田園詩ビルの17時 (2006.11.21)

---

昔はドゥーファミリー美術館と称した建物（→[参考](#)）でしたが、この時は「田園詩」と名を変えていました。決して田園にある訳ではないですが、建物自体はどこか牧歌的。言い得て妙、と言えます。

田園詩ビルはもちろんですが、樹の感じといい、洋館の灯りといい、紫がかった紺青の空といい、何かと絵になるのがこの神宮前1-12界限なのです。



→こちらどうぞ. . . 「東京モノログ」第100話～東京百景Ⅰ：[神宮前1～北青山2](#)

## #087 モザイク通りの青い風（2008.11.21）

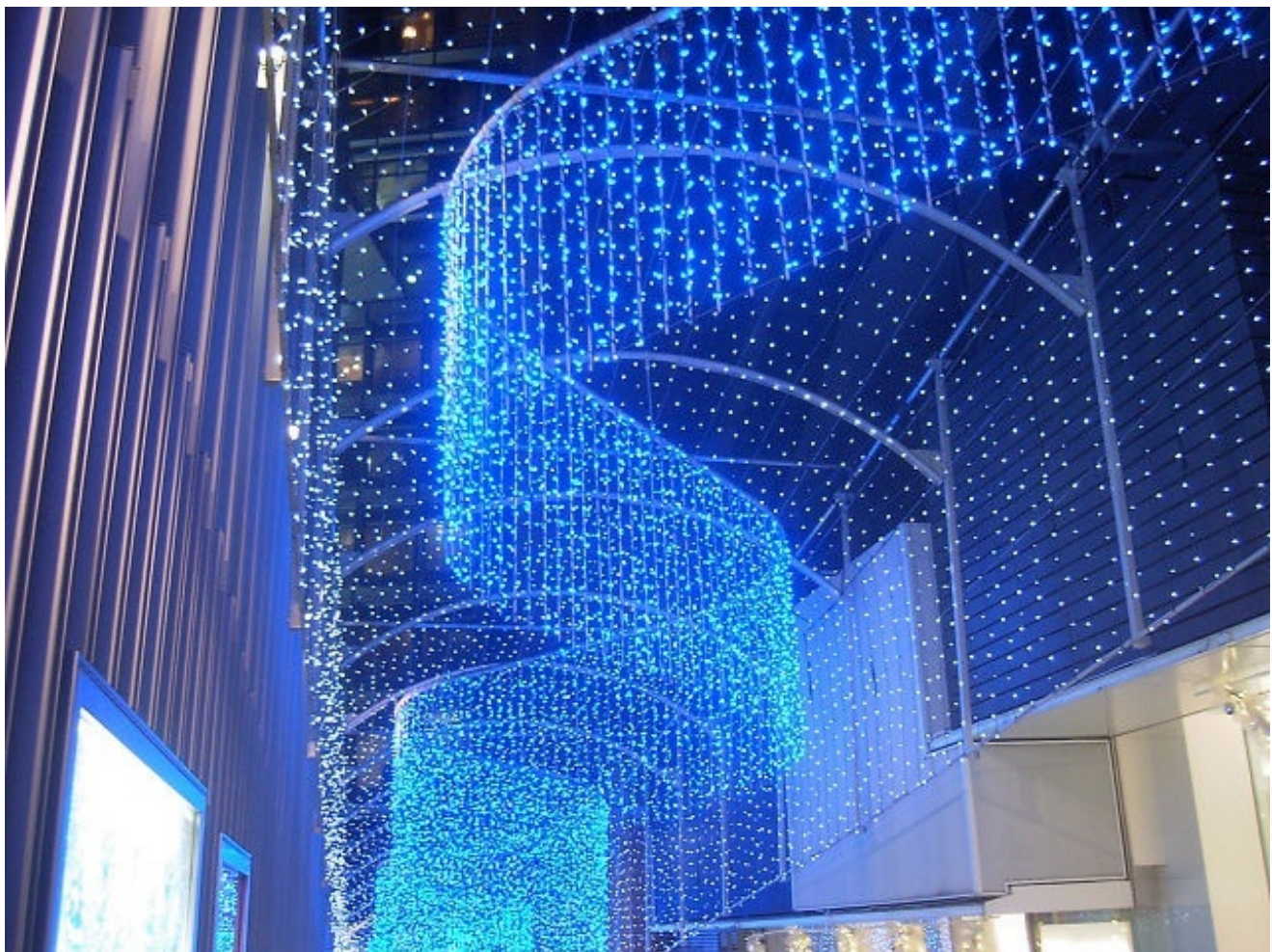
---

ミロードがまだなかった頃、小田急百貨店と京王百貨店の間にはただ坂道があり、その路面には木目込み細工のようなモザイクが敷かれていたのを思い出します。（今思うと、滑らないようにするための仕掛けだったのかも知れません。）

モザイク通りがリニューアルした際に、その模様はなくなってしまった訳ですが、通りの名前には引き続き「モザイク」が継承され、それこそモザイクの如く多様な人の流れを受け止めています。今やすっかり人気スポット。昔を知る者としては隔世の感あり、です。

この季節になると、夜は電飾で彩られます。今年もミロードから続く一帯で[イルミネーション](#)が始まり、昨年同様、モザイク通りの上では青色LEDの帯が揺らいでいるようですね。

オーロラか羽衣か、といった趣ですが、この帯、「風のトンネル」と呼ぶそうです。（今回は独断で「青い風」としました。）



→こちらどうぞ．．． [ENVIROASIA記事～「青色LEDで省エネ」](#)

## #088 東京国立博物館の園路にて（2004.11.23）

---

東京国立博物館の平成館で開催されていた「中国国宝展」を鑑賞し、次に本館へ向かう途中、館の裏手の園路を通った際に撮った一枚です。

平成館と応挙館の間から、本館の背後を撮ったものと思われますが、位置関係は定かではありません。今頃は同じように黄葉が目につくはずなので、行ってみればハッキリすると思います。（[→参考地図](#)）



→こちらどうぞ．．．「東京モノログ」[第176話](#)～2004年15大ニュース（関連記事は6.）

## #089 桜上水の空 (2008.12.04)

---

かつての桜上水駅の上り・下りの連絡通路は地下だったと記憶しています。駅舎が変わり、改札が上階になったことで、こうした見晴らしのいい場所ができました。日常的に駅を利用する方々にとっては当たり前の光景かも知れませんが、「昔は見るができなかった景色」というのを知る者にしてみれば、感慨深いものがあります。

桜上水からこの先の八幡山までは、京王線と甲州街道が直線で平行する区間。空が広く見えるのは、上に被さるものがないためでしょうね。(その分、右手の大型看板が目につきます。甲州街道からではおそらく見えず、その上の高速道路から見える高さを考えての配置と思われます。)



→こちらもどうぞ. . . 「漂着モノログ」 (REAL verison) ~ 「[千歳と桜を結ぶ線](#)」

## #090 1年中クリスマスのお店（2007.12.08）

---

品川駅西口から案内板に従って行けば何とかたどり着けますが、高輪方面からだとおそらく迷ってしまうでしょう。そんな不思議な一隅にある「一年中クリスマスのお店」、その外観です。

実際に目にした時もそうですが、撮影したのを見てもこの通り、店も樹木も幻惑してしまう程の眩さです。寒い時期ほどイルミネーションは暖かく見えるものですが、ここまで明るいとお気してしまいそうです。(^^)



→こちらどうぞ. . . [「クリスマスショップ」](#)



## #091 MARUNOUCHI NIGHT (2008.12.28)

---

丸の内一帯がイルミネーションに彩られる「Illumination Marunouchi」。#004で紹介した和田倉噴水公園もその一部に入ってしまう、というスケールの大きさもさることながら、どの街路を写しても絵になってしまうところがまたポイントでしょう。

イルミネーションのメインストリート（仲通り）上ではありますが、こんな落ち着いた感じのスポット（DNタワー21前）もあります。樹々の煌きとは対照的に、静けさを演出するかように灯る蛍光系の緑色が印象的です。



→こちらどうぞ. . . [「2008-2009 Marunouchi Illumination & Event Information」](#)

## #092 V字の青空（歩行者天国@新宿通り）（2009.02.01）

これまでは、過去何年間かのストックからご紹介してきましたが、掲載月＝過去撮影月が一巡したため、百景までの残り9つについては、2009年に撮った中から載せていくことにします。

（2009と9つをかけて「九景」ということになりますね） 鮮度の高い写真を載せるという意味では、ようやくブログ本来の形になる訳ですが、何ヶ月前の～というところが当・百景のポイントです。(^^)

2009年ピックアップの最初は、お気に入りスポットの一つ、新宿通りの歩行者天国にしました。2月1日、日曜日の昼下がりの空はこの通り、青々にして清々。雲ひとつない状態なのは、限られたV字の範囲なので、とも言えますが、それでもこの切り分けられたブルーはなかなかの見物だと思います。

左側の白い壁面は、開店を控えたマルイ本館です。ここがOPENしたのが2009年のこと、というのが今は不思議に思えます。



→こちらどうぞ... 「東京モノログ」 [第238話](#)～駅前といえば銀行？

## #093 ビル群をすり抜ける赤い線（品川グランドcommonsと京急）（2009.04.08）

御殿山の桜を観た後、品川駅に戻る途中で撮った一枚です。右手の八ツ山橋も「撮り鉄」（JR + 京急）スポットですが、ビル群（品川グランドcommons）の下をすり抜ける京浜急行を撮るなら、橋を含めたこの位置合いが良さそうです。

車の往来が途切れると、第一京浜はより広く見えます。視界が確保できたところで、電車が通れば言うことなし。これだけの高層建築をバックに車両全体が撮れる場所はそうそうないと思います。



→こちらどうぞ. . . 「東京モノログ」[第174話](#)～ANAとHANEDA空港

## #094 開放的なW字（トンボ鉛筆本社ビル）（2009.07.30）

---

この日は北区豊島と足立区新田を自転車で行ったり来たりしながら、ある著作の構想を練ったりしていたのですが、隅田川に架かる新豊橋に向けて走っていたら、目新しい建物が．．．よくよく見たら新しいトンボ鉛筆の本社ビルで、思わず足を止めました。

これまでに何度か前を通っているはずですが、旧社屋の頃は認識できてませんでした。周囲の環境を含め、すっかり開放的になり、目に入りやすくなった、という訳ですね。

吹抜構造の階段ホールは、「コミュニケーション・コア」と呼ぶようです。この階段のW字に呼応するように、雲の間にできた青空の形も連続するWに見えます。そう、トンボ鉛筆のトンボは、英文表記では「TOMBOW」。末尾のWによるダブル効果、と言えそうです。



→こちらもどうぞ．．． [「株式会社トンボ鉛筆本社ビル」](#)

## #095 区界の隅田川と雲（2009.07.30）

---

[#094](#)の続きです。足立区新田と北区豊島を行ったり来たりしながら、荒川河川敷に出たところ、さっき走ってきたエリアが一望できました。荒川と隅田川が接近する場所から、隅田川を眺めたのがこの写真で、左岸が北区、右岸が足立区になります。

環八雲は有名ですが、川の上の雲というのもあるようです。ふっくらした夏雲が川の流れに沿うように並んでいるのが印象的でした。（たまたまだとは思いますが）



→こちらどうぞ. . . 「漂着モノログ」 (REAL verison) ~ 「[王子神谷から千住桜木へ](#)」

## #096 COOL BIZトレインが行く (@都立大学) (2009.08.28)

沿線イメージの高さ、さらには沿線住民の感度の高さという点で、東急東横線は首都圏私鉄の雄と言えるでしょう。かつて通勤で使っていた時分は、乗っているだけで感性が研ぎ澄まされる気がして、東横線パワーのようなものを日々実感したのを思い出します。

そんな感度や感性を頼ってのことか、2009年の夏には「COOLBIZトレイン」なる車両が走り、ちょっとした話題になりました。東横線ならこうした実験もオシャレに実施できるし、乗客の理解も得やすい．．．ということなんでしょうね。

適切な冷房温度に実際に設定されているかどうかを調べに出かけたのがこの8月の終わりの日でした。都立大学駅に着き、外気温を計ったらたちまち30℃超。その温度計を持って、そのまま次の列車に乗り込んだら、あれよあれよで急降下。COOLBIZトレインではなかったのですが、低めだったのかも知れませんが、23.5℃というのはちょっとクールな気もします。



→こちらどうぞ．．．「東京モノログ」[第288話](#)～クールなCOOLBIZトレイン

## #097 東京（丸の内）発 夢の下町行き（2009.09.06）

---

日本橋で時々遭遇していた不思議なバス。デビューしたのは2008年4月でしたが、実際に乗る機会がないとなかなか認識しないもので、これが「[東京→夢の下町バス](#)」と知ったのは、しばらく先のことだったと記憶しています。

出発地である東京駅丸の内北口で見たのはこの時が最初。その斬新な車体デザインは、こうした高層建築物を背景にすると見栄えがしますが、浅草や両国では果たしてどう映るのか？ 要所所で降りては撮ってを繰り返して、ひとつ検証してみたいものだと思います。（都バスの一日乗車券を使えば楽々。でもいつになるやら．．．）(^\_^;



→こちらどうぞ．．．「東京モノログ」[第239話](#)～タクシー地名考（東京駅編）

## #098 上野御徒町の宵の月（2009.09.24）

---

御徒町と上野の間あたりで、心と空を見遣った時の一枚です。街灯の明るさが目立ちますが、その下で控えめながらも月が顔を出し、ちょっとしたアクセントに。空の色はこのように段階的な感じだったのですが、その淡い青の（ともすれば溶け込みそうな）中だからこそ、価値ある輝きと言えそうです。

宵という表現が当てはまるかどうか．．． 撮影時刻は18時前です。



→こちらどうぞ．．．「東京モノログ」[第298話](#)～春日通りを往く（佐竹商店街～炭団坂）



## #099 銀座、15時ジャスト（2009.10.12）

---

今昔比較は[こちら](#)をご覧ください。この日は比較写真を撮る他に、アンテナショップ巡りをされていて、その道中で撮影しました。

歩行者天国中につき、道の真ん中から撮ってもよかったのですが、和光を好位置で収めるにはこの角度がいいようです。15時ちょうど、秋の高い空に時報が響き渡っていくようで、爽快でした。



→こちらどうぞ．．．「東京モノログ」[第292話](#)～アンテナショップの利用法

## #100 阿佐ヶ谷駅北口（11月のケヤキ）（2009.11.06）

---

百景目にして、ようやく杉並区からの一枚です。この日は高円寺から阿佐ヶ谷まで歩く予定を立て、セントラルロード、馬橋公園、阿佐ヶ谷進交会の順で巡り、ゴール（阿佐ヶ谷駅北口）に着いたところで、この光景を撮りました。

11月ながら、中杉通りのケヤキはまだフサフサしていて、その葉の色は空の青との対比でより濃く見えます。「[住んでよかった街ランキング](#)」にランクインする街というのはどこか違う。こうした駅前的美観も一つの要素なんじゃないかな。



→こちらどうぞ... 「東京モノローグ」 [第4.6話](#)～メンテナンス

## エリア別リンク集、その他の目次集

---

[千代田区 \(14\)](#) [渋谷区 \(10\)](#)  
[中央区 \(7\)](#) [中野区 \(1\)](#)  
[港区 \(12\)](#) [杉並区 \(1\)](#)  
[新宿区 \(11\)](#) [豊島区 \(4\)](#)  
[文京区 \(3\)](#) [北区 \(4\)](#)  
[台東区 \(4\)](#) [荒川区 \(2\)](#)  
[墨田区 \(2\)](#) [板橋区 \(1\)](#)  
[江東区 \(4\)](#) [練馬区 \(1\)](#)  
[品川区 \(4\)](#) [足立区 \(3\)](#)  
[目黒区 \(2\)](#) [葛飾区 \(2\)](#)  
[大田区 \(2\)](#) [江戸川区 \(3\)](#)  
[世田谷区 \(2\)](#) [23区外 \(1\)](#)

[第300話](#) 続 東京百景Ⅰ

[第301話](#) 続 東京百景Ⅱ

[百景総集編ページ](#)

Googleマップ版「[続 東京百景](#)」

【エリア別掲載数】

千代田区	14
中央区	7
港区	12
新宿区	11
文京区	3
台東区	4
墨田区	2
江東区	4
品川区	4
目黒区	2
大田区	2
世田谷区	2
渋谷区	10
中野区	1
杉並区	1
豊島区	4
北区	4
荒川区	2
板橋区	1
練馬区	1
足立区	3
葛飾区	2
江戸川区	3
23区外	1

【年別掲載数】

2009	9
2008	25
2007	16
2006	19
2005	10
2004	9
2003	10
2002	2

【時間帯別掲載数】

AM（正午まで）	19
PM（正午～18時まで）	61
夜（18時以降）	20

前回の東京百景（[第100話](#)／[第101話](#)／[第102話](#)）は、出会い頭的にあれもこれも、だった。結果、知る人ぞ知る場所や景観が中心で、エリアも偏ることとなった。百景と豪語するような出来ではなかった訳だが、今回はちょっと違う。できるだけピンと来る場所、かつそれなりに見映えする風景を選ぶようにした次第。百景入りできそうな写真をここ数年撮りだめし、その名の通り「東京百景」フォルダにストックしておいたのが活きている。だが、23区で満遍なく、というのはやはり難しい。

おさらいすると、分布としてはこんな感じになった。エリア別で言えば、千代田区、港区、新宿区、渋谷区の順で、この4区で半数近くとなった。ただし、空白区が（辛うじて）出なかったように、前回の「東京百景」に比べればうまく散らばったとも言え、さらにはその「東京百景」出没地を取り囲むように今回は押さえて行ったことがわかり、我ながら上々の仕上がりに思っている。（年別では2006年～2008年の3年間で半数以上、時間帯別では午後が中心）

新宿区と渋谷区が中心だった前回の百景は、山手線の円の範囲で言うなら西高東低。「続 東京百景」は都心&副都心が高く、周辺部が低い、といった感じで、中野、杉並、板橋、練馬が一景どまりということに表れている。明らかに「西低」だった訳だが、逆に葛飾の2、江戸川の3と、「東低」にならなかった点は評価したいと思う。

百景の候補に挙げた写真はもちろん多分にある。そして、実際には出没していても写真に収められなかった場所やスポットというのも多く存在する。レンタカーで通りがかった際、中央線を乗り降りした際（[第280話](#)）、漂着物調査での大森&平和島（[第234話](#) 他）、自転車で何度か足を運んだ上板橋&ときわ台．．．いずれも今回の百景では登場していない。

[Googleマップ](#)でのまとめを見ていると、「この辺を1つでも紹介できていれば好バランスだったのに」というエリアがあることに気付く。その最たる地が、東大前・白山界隈である。それなりに出歩いていたのに結局空白のまま。春日通りも、御徒町～本郷三丁目の範囲をよく往復していたが、百景入りはなし。[第298話](#)のようなネタを早々にやっていたら、少なくとも炭団坂辺りは入れられたらと思う。まあ、はじめから百景目当てで撮っている訳ではないからまた面白いのだが、出没頻度と（決定的な）景観頻度というのは必ずしも一致しないことを今改めて感じている次第である。（[第286](#)～[287話](#)では、百景系を少しは意識したりもしたが、あいにく猿江でも五反田でもこれ！というのはいずれも得られなかった。）

総じて、視界が広く、何らかの動きを伴うシーンを多く選ぶことになった。あとは、静寂の中の華やかさとか、色調、空の感じ、都市的美観．．．とかだろうか。

[ameblo](#)での掲載を始めた当初は数をこなすのに注力していたところが、そうした観点が固まるとともに厳選傾向が深まり、前なら入れていたような写真をボツにしてみたり、ということも。つまり筆者なりに葛藤を経た上での百景であり、その思い入れ故、掲載待ちが十景を切るくらいになってくると一抹の寂寥感を覚えたりもした。これも前回はなかったことである。

ともあれ、出来上がってしまえばそんな感慨も何処へやら。今はただ、百というのはそれなりの数になるもんだ、という雑駁な気分が占めている。

数年スパンではあるが、とにかくあちこち動いていた、ということのを再認識する上でも百景のまとめというのはやはり重要。モノローグの節目に持ってくるネタとしては打ってつけだと思づくと思う。また先の話になるだろうが、「続続 東京百景」、一つお楽しみに?!

★「続 東京百景」(ameble版)、受賞には至りませんでした。アルファポリス「第2回 エッセイ・ブログ大賞」(投票期間:2009年12月)では、一次選考([112作品中の7作](#))に通る栄を賜りました。ありがとうございました。